

公益社団法人京のふるさと産品協会令和4年度第3回理事会

次 第

日時：令和5年3月13日（月）14時～

場所：京都JAビル105会議室

1 開 会

2 議 事

[報告事項]

- (1) 令和4年度法人運営に関する事項
- (2) 令和4年度業務の実施状況
- (3) 理事長（代表理事）・業務執行理事の業務執行状況報告
- (4) その他

[協議事項]

- (1) 令和5年度事業計画及び収支予算について
- (2) 令和5年度会費の賦課・徴収方法について
- (3) 賛助会員規程の策定について
- (4) その他

3 閉 会

令和4年度第3回理事会 報告事項

- 1 令和4年度法人運営に関する事項
- 2 令和4年度業務の実施状況
- 3 理事長（代表理事）・業務執行理事の業務執行状況報告
- 4 その他

公益社団法人京のふるさと産品協会

1 登記関係

2 総会・理事会の開催状況

	開催年月日	主 な 内 容
定時総会	令和4年6月20日	・ 令和３年度事業報告及び収支決算について ・ 会費等に関する規程の一部改正について ・ 令和４年度会費の賦課・徴収方法について ・ 役員の選任について ・ 報告事項 令和４年度事業計画及び収支予算、業務方法書の一部改正、その他（京のブランド戦略進行管理について）

	開催年月日	主 な 内 容
第1回理事会	令和4年6月 2日	・ 令和3年度事業報告及び収支決算について ・ 余裕金の預入先金融機関について ・ 会費等に関する規程の一部改正について ・ 令和4年度会費の賦課・徴収方法について ・ 役員の候補者について ・ 第50回定時総会の開催について ・ 報告事項（業務方法書の一部改正について）
第2回理事会	令和4年6月20日	・ 役員の互選について

○ 令和3年度事業報告書等の届出	令和4年6月27日
○ 役員変更の届出	令和4年7月19日
○ 令和5年度事業計画等の届出	令和5年3月31日(予定)

報告事項 2 令和4年度業務の実施状況

ブランド推進事業

1 ブランド認証事業

(1) ブランド認証の状況

ブランド認証品目： 31品目（内加工品2）

ブランド指定産地：113産地（令和5年2月28日現在）

(2) ブランド認証審査会の開催状況

年 月 日	審 査 会 名	審 議 内 容
令和4年9月14日	幹事会（青果、豆・酒米）	ブランド産地指定期間の更新
9月28日	京野菜審査会	同 上
令和5年3月 9日	合同幹事会（青果、豆・酒米、京の酒・京漬物）	ブランド産地指定期間の更新及び新規
3月10日	幹事会（水産）	同 上
3月23日(予定)	京野菜審査会	同 上
同 上	農林水産品審査会	同 上

2 消費者ニーズに対応したPR強化

(1) 京vegeアンバサダーを任命(任命式6月23日、京都JAビル)

京野菜などの京のブランド製品の魅力を若い世代の消費者の視点から情報発信する「京vegeアンバサダー」（大学生8名）を任命しました。



任命式当日集合写真



翌日朝刊：日本農業新聞



リーダーインタビュー：KBS 京都



KBS 京都放映：当日昼と夕方(各2分程)

(2) オンラインを活用したPR

① オンライン産地見学会リアルプラス(ハイブリッド)の開催

料理店、青果バイヤー、市場関係者に向けてオンライン産地見学会を生中継で開催、同時に現地参加者を募集して参加者の生の声を産地から発信しました。

第1回 伏見とうがらし・賀茂なす(6月28日、精華町・亀岡市)

<参加者>33名(現地参加者5名、オンライン参加者28名)東京から現地参加者あり

<参加者の声>「季節ごとに食感や味が違うことを初めて知った」「次は実際に料理を見たい」「次回も参加したい」などの声をいただきました。



伏見とうがらしのほ場から農家が説明



賀茂なすほ場での説明

第2回 紫ずきん(9月27日、南丹市園部町)

<参加者>31名(現地参加者16名、オンライン参加者15名)

<参加者の声>「他の枝豆とは厚みが違う」「紫ずきんでビールが美味しく飲める」「たくさん収穫できて楽しかった」などの声をいただきました。



アンバサダーによる
紫ずきんの紹介



オンライン中継の様子



参加者が紫ずきんを収穫

第3回 花菜(2月21日、長岡京市)

<参加者>20名(現地参加者8名、オンライン参加者12名)

<参加者の声>「花菜の収穫前の姿を初めて見れた」「パック詰めは難しく、技術が必要だと体感できた」「やわらかくておいしい」などの声をいただきました。



生産者が花菜を紹介



圃場で花菜の栽培を説明



参加者が花菜の収穫体験

②ライブコマースの開催

「なるほど！マーケット」※1で、ライブコマース※2を開催しました。

※1 なるほど！マーケットとは、日本ユニシスや大日本印刷の福利厚生として社員向けに実施している取組です。

※2 ライブコマースとは、インターネット上で生放送の動画を配信して、動画内で商品やサービスを紹介・販売する手法です。

第1回 産地から生中継で配信「賀茂なす」（7月13日、綾部市）

<視聴者数>

リアルタイム視聴 100名以上、アーカイブを含めた視聴者数は350名以上



商品「賀茂なす」の説明



通販サイトのリンク

第2回 月桂冠大倉記念館から生中継で配信「祝米」（12月20日、京都市伏見区）

<視聴者数>

リアルタイム視聴 100名以上、アーカイブを含めた視聴者数は330名以上

※今回は、日本ユニシスや大日本印刷に加え、京都府、全農京都の関係部署にも案内して配信



祝の稲穂の説明



<消費者ニーズに対応したPR強化 成果と課題>

- 「京vegeアンバサダー」（大学生8名）を任命し、産地見学会や農林水産フェスティバルなどのイベントシナリオや販促グッズについて提案いただき、若い世代の消費者の視点から京野菜等の魅力を情報発信、継続した活動に期待
- 産地見学会は移動時間を節約できて好評のオンラインに、産地状況を実感いただける現地参加者を募り、生の声を中継することによりリアル感をプラス
- 新しい取組のライブコマースは、ライブ配信をしながら視聴者と配信者が対面型のコミュニケーションツールで、関係者と協働して計画することが必要

3 販売促進活動強化の取組

(1) 首都圏での京野菜取扱強化への取組

①「はんなり京都マルシェ」で京野菜販売(11月16日～18日、二子玉川駅)

二子玉川駅は、1日乗客約16万人。会場は平均来場者約8～9万人であり、当日も沢山のの人に、買っていただきました。(九州屋：ほんまもん京野菜取扱店)



広告ポスター



ブランド京野菜の販売ブース



マルシェ会場の様子

②「賀茂なすお試し会(試食会)」開催(9月、ABC Cooking Studio)

食に関心の高い首都圏の若年層を対象とした「賀茂なすお試し会(試食会)」を首都圏のABCクッキングスタジオ5ヶ所各5回、合計25回開催(約1,000人が試食)

<メニュー>賀茂なすのラタトゥイユ

<参加者の反応>「賀茂なすはクセがなくおいしい」など、好評の声をいただきました。



京野菜 PR テーブル



参加者へ説明している様子



抽選で賀茂なす1個当選

③「Zoom親子料理教室(賀茂なす)」開催(8月20日、ABC Cooking Studio)

若年層向け需要拡大の取組として「Zoom親子料理教室(賀茂なす)」を開催しました。

<メニュー>子供でも楽しめる「賀茂なすのからふるピッツァ」

<参加者>首都圏を中心に全国各地16名

<アンケート結果>「とても楽しく食育になる素敵な時間でした」「子供たちが喜んで」「他の京野菜でもこのような教室があれば、参加したい」など



料理の説明



Zoom オンラインの状況

（２）販促グッズ等を活用した販売促進

近畿圏はもとより首都圏でも京野菜の認知度は高く、調理法を知りたいという消費者が多いため、京野菜の調理サンプルやレシピのリーフレットを掲示し、購入いただいた方には京野菜グッズを配布するなどして京野菜等の更なる認知と購入意欲の向上に努め、消費拡大を図りました。

＜ほんまもん京野菜取扱店での実施回数＞

首都圏	14店舗	83回、
近畿圏	8店舗	14回

（首都圏）

京野菜の調理サンプルや料理研究家大原千鶴さん監修のレシピで多くの方に京野菜コーナーに目を留めていただきました。



高島屋新宿店



九州屋新宿店



九州屋町田店

京 vege アンバサダーが考案した京野菜イラスト入りエコバッグを使って、複数店舗で京野菜詰合せセットを販売しました。

（店舗の担当者からも好評）

「普段購入していただきづらい品目もセットにすることで購入していただける」と好評でした。



エコバッグに
京野菜を詰め合わせて販売



ハヤシフルーツ
吉祥寺店



ハヤシフルーツ
渋谷フードショー店

京vegeアンバサダー
考案のエコバッグ



九州屋上野店



九州屋池袋店



九州屋渋谷ヒカリエ店

（３）「万願寺甘とう」のトップセールス（７月２８日、大田市場 他）

大田市場内で万願寺甘とうのトップセールスを開催しました。産地からは JA 京都にのくに、全農京都と本協会が出席し、組合長自ら万願寺甘とうを PR していただきました。

前日は、京野菜取扱店３店舗を視察し、店舗担当者と意見交換を実施しました。



トップセールス開催時の様子



参加者へ万願寺甘とうを配布



前日の店舗視察

（近畿圏）



八百一 JR 京都伊勢丹店



京都ファミリー京美

（４）「京の食材マーケット開拓員」が首都圏の販路開拓サポート

「京の食材マーケット開拓員」を設置し、京野菜をはじめとする府内産農林水産物及びその加工品について、首都圏での料飲店や業務向けの新たな需要開拓を推進しました。

＜主な活動内容＞

- ・東一等首都圏卸等とのパイプ役
- ・首都圏販路開拓先（高級量販店）情報収集・提供
- ・協会等が行う首都圏でのPR活動サポート
- ・ほんまもん京野菜取扱店との情報交換

＜販売促進活動強化の取組 成果と課題＞

- 首都圏での京野菜取扱強化への取組として、古都・京都の珠玉の逸品を販売する「はんなり京都マルシェ」でほんまもん京野菜取扱店と協力して京野菜を販売、また、京野菜（賀茂なす）を使った料理教室を開催するなど消費者に喚起
- 首都圏・京都府内の小売店や量販店等での売り場づくりについて、京野菜グッズを活用して支援し、ブランド京野菜の販売促進・PR活動を実施
- 「京の食材マーケット開拓員」が定期的なオンライン打合せにより、卸、全農と調整しながら、首都圏の販路開拓をサポート、高級量販店をターゲットに、首都圏卸等との調整、高級量販店の販路開拓サポートに重点を置いた活動を計画

4 各種イベント開催における京野菜等のPR

「食の京都」大収穫祭～50th Anniversary～

(1) 京都府農林水産フェスティバル2022開催

50回の節目となる「京都府農林水産フェスティバル」を3年ぶりに開催しました。府内産農林水産物や、加工品及び手作り製品の展示・販売等を通して生産者同士や消費者との交流を深め、多くの方に府内産品の良さをお伝えしました。

日時 11月26日(土)～11月27日(日)

場所 京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)



(出展者数)

生産者・加工グループ他 128 団体

(入場者及び売上)

日程	入場者数	売上高(千円)
1 日目	24,000	13,000
2 日目	18,000	11,000
合計	42,000	24,000

新鮮で良質な府内産農林水産物やふるさと産品を広く府民にPRする多彩な取組を展開し、「味わい、体験し、買える」魅力あふれるイベントとなりました。

(開催内容)

- ・京都府内農林漁業関係団体による展示・販売など
- ・フェスティバル半世紀の歴史を振り返る「記念パネル」及び「リーフレット」を作成
- ・文化庁京都移転を記念した「京都食文化体験コーナー」(キッチンカー)
- ・「京都よい食フェスタ2022」(JA京都中央会)
- ・京都府農林水産フェスティバル表彰式典(京都府)
- ・「食の京都エリア」の実施(京都府)
- ・「大商工祭」～丹後・丹波・山城の特産市～(京都府商工会連合会)



50th Anniversaryパネル展示
50年の歴史を紹介



にぎわう出展ブース
京野菜スタンプラリー・焼き栗



キッチンカーによる
京都食文化体験

(2) 京づくしプレミアムレストランフェアの開催

京野菜の歴史文化等のストーリーや健康機能性等の魅力を PR するため、京都府内の料理店で「ブランド京野菜 旬の料理フェア」を開催しました。

本フェア参加店でブランド京野菜を使用した特別メニューを考案いただき、京野菜や府内産農林水産物を使用した京づくしの献立を提供しました。

①美味研鑽 京の食文化「ブランド京野菜 夏の料理フェア」

＜開催期間＞ 8月21日(日)～9月4日(日)

＜参加店＞ 4店

たん熊北店 本店、京料理 いそべ 本店、

京料理 鳥米、京・宇治抹茶料理 辰巳屋

＜使用したブランド京野菜＞

賀茂なす、万願寺甘とう、京 夏ずきん 等



②美味研鑽 京の食文化「ブランド京野菜 冬の料理フェア」

＜開催期間＞ 1月21日(土)～2月19日(日)

『記念講演会』1月7日(土)・8日(日)開催

講師：京都府立大学 中村教授 料理：鳥米 田中氏、松正 小笹氏

＜参加店＞ 25店

中国料理伯楽家常菜、ルルソンキボア、エヴァンタイユ、奥貴船兵衛、八千代、山ばな平八茶屋、有喜屋ホテルオークラ京都店、割烹 なか川 三条木屋町、京野菜桜肉鴨肉子鴨、京料理かじ、たん熊北店京都本店、菊乃井本店、天ぶら八坂圓堂、乙文、京料理およね、ジョイフル文蛾、松山閣 ジェイアール京都伊勢丹店、嵐山熊彦、京料理 せんしょう、京料理 鳥米、京料理 清和荘、平等院表参道 竹林、京料理・抹茶料理 辰巳屋、京料理 松正、京の味処 うお寿

＜使用したブランド京野菜＞

花菜、堀川ごぼう、京みず菜、九条ねぎ、えびいも 等



(3) 全国日本酒フェアの支援(6月17日(金)~18日(土)、幕張メッセ)

令和元年度以来の対面形式での開催で、京都ブースへの来場は関西出身者も多数でした。祝の稲わらを展示するなど、「祝」を中心に京都の日本酒をPRしました。

<来場者>約2,000名



3年ぶりの対面開催



京都府ブース

(4) 東京で活躍する京都人の集いで京野菜を使った弁当を提供

首都圏で活躍されている京都府ゆかりの経済界及び中央官庁の方々が「京都」を絆として相互交流を図る集いで京野菜等を使用した弁当を提供、交流会では文化庁移転や観光情報とともに京都産品等を紹介する展示ブースで京野菜をPRしました。

日 時 11月15日(火) 18:00 ~ 20:30

会 場 八芳園(東京都港区白金台1丁目1-1)

出席者 約150名



(使用した京野菜等) 京丹波大黒本しめじ、聖護院かぶ、九条ねぎ、堀川ごぼう、えびいも

(5) あじわい館で京野菜を使用した料理教室の開催

京都の老舗料亭・料理店の次世代を担う若手料理人から京料理の基本を習う教室で京野菜を提供し参加者に京野菜の魅力をPRしました。

<実習>

- ・7月8日 講師：鳥米 田中良典氏(16名)
賀茂なす、万願寺甘とう
- ・8月6日 講師：辰巳屋 左宗一郎氏(10組20名)
水菜、九条ネギ、万願寺甘とう、夏ずきん
- ・11月10日 講師：菊乃井 村田知晴氏(32名)
聖護院かぶら、聖護院だいこん、えびいも



<オンライン>

- ・7月25日 講師：松正 小笹正義氏(25名)
賀茂なす、万願寺甘とう
- ・8月22日 講師：萬重 田村圭吾氏(20名)
壬生菜、水菜、万願寺甘とう、賀茂なす



(6) 京料理展示大会で京野菜を販売

京都料理組合が主催する「第 116 回京料理展示大会」において京野菜の P R 及び販売を行いました。3 年ぶりの開催です。

日 時 12 月 13 日(火)・14 日(水) 10:00~16:00

場 所 みやこめっせ 3 階 第 3 展示場



<販売品目>

京みず菜、京壬生菜、九条ねぎ、花菜、聖護院だいこん、
聖護院かぶ、京こかぶ、堀川ごぼう、えびいも、こえび
ちゃん、やまのいも、金時
にんじん、京かんざし、京菊
菜、はたけ菜、ほうれん草、
柚子、トマト、葉つきだい
こん、辛味だいこん、青味だ
いこん、京かんしょ、銀杏



本しめじ



京野菜販売コーナー



京式部

(7) イタリア料理専門展に出展

第 3 回イタリア料理専門店「ACCI Gusto 京都」で京野菜等の P R を行いました。

日 時 令和 5 年 2 月 2 日 (木) 10:00~17:00・3 日 (金) 10:00~16:00

会 場 ANA クラウンプラザホテル京都

来場者 986 名



協会ブース「京野菜」PR



「あつらえ本しめじ」の試食

5 多様な媒体による情報発信

(1) 広報誌

協会広報誌「元気印」及び料理店、バイヤー向け情報誌「元気印ミニ」の発行



「元気印」第134号



第6号京みずな(4月)



第7号伏見とうがらし(6月)



第8号京こかぶ(11月)

「元気印ミニ」

出荷時期に合わせ、旬の産地情報を届けました。

(2) SNS (instagram・Facebook・YouTube) 等で消費者等に情報提供

京野菜の出荷情報やイベント情報、栽培情報、旬のレシピなどを発信

・F B等延74回、YouTube3本発信(2/14現在)



(3) 情報誌への広告掲載

京のブランド産品の情報や旬の京野菜提供店の広告を観光情報誌等に掲載しました。

(情報誌)



はれ旅物語 in 京都・兵庫

(高速道路)
リーフレット



(日経新聞)
折り込み



(4) 四季の京野菜ポスターの作成

旬の京野菜を四季ごとに日本の伝統文様を取り入れて京の食文化を表現した、旬の出回りが一目でわかる春・夏・秋・冬の京野菜ポスターを作成しました。

仲卸からほんまもん京野菜取扱店、旬の京野菜提供店など関係各者に幅広くご利用いただいております。



(5) 京野菜レシピのリーフレットを作成

著名な料理研究家 大原千鶴さん監修の「旬の彩り 京野菜レシピ」を作成し、各種イベント等で手軽に作れる簡単京野菜レシピを紹介し、販促等に活用しました。



旬の彩り京野菜レシピ
秋・冬偏

旬の彩り京野菜レシピ
春・夏偏



6 京の食文化の継承発展に資するPR活動等

(1) 料理専門学校で京野菜メニューを提供

未来の料理人である料理専門学校の学生が運営するレストランにブランド京野菜を使用した京野菜のメニューを提供いただきました。

＜伏見とうがらし＞

期間：5/31～7/22

数量：26 箱



＜聖護院だいこん＞

期間 11/15～1/20

数量：10 箱



[大和学園学生レストラン] 運営学生数 126 名

(学生のコメント)

「野菜ですが、料理の主役として充分存在感があるところが魅力的です」

「下茹でしたお湯もすごく甘くて美味しかった」

(聖護院だいこん提供数) 来客数総数 888 名

日本料理レストラン 「京味鶴 藤」

来客数 504 名 / 営業日 18 日

フランス料理レストラン「Le Grand Classique」

来客数 204 名 / 営業日 6 日

イタリア料理レストラン「IL GRANDE BAMBINO」

来客数 180 名 / 営業日 12 日

(2) 日本茶の魅力シンポジウム ～伝えたい、広げたい！～「日本茶」の魅力

和食の中でも重要な位置付けにある「日本茶」を将来世代にわたって持続可能に発展させていくために、改めて日本茶の魅力やお茶の文化について考え・発信しました。

日時 令和 5 年 1 月 14 日 (土) 13:30～16:30

場所 宇治茶会館 (ハイブリッド形式) 京都府宇治市宇治折居 25 番地 2

会場参加 50 名 オンライン参加・ウェビナー 190 名



＜基調講演＞

MIHO MUSEUM 館長 熊倉 功夫氏

和食文化国民会議名誉会長、国立民族学博物館名誉教授、和食文化学会顧問

＜ディスカッション＞

MIHO MUSEUM 館長 熊倉 功夫氏

文化庁文化財調査官 (食文化) 大石 和男氏

平安女学院大学国際観光学部教授 山本 芳華氏

司会・進行役：和食文化学会理事 (企画委員) 小田 一彦



7 京たけのこ栽培指針の策定（京都府特産物育成協議会）

京たけのこの生産振興とブランド価値の向上のため、「京たけのこ」「白子たけのこ」の定義を明文化し、「京都式軟化栽培」等のこだわり技術や「京たけのこ」の美味しさ・魅力を広く情報発信するものです。



京たけのこ栽培指針



「京たけのこ栽培指針」に係る取扱いQ&A・簡参考情報

8 市場検品調査でブランド京野菜の品質確認

市場流通しているブランド京野菜の品質確認のため、京都市中央卸売市場第一市場で検品調査を実施。

J A全農園芸課と連携して、毎週2回実施。

<実施期間> 通年実施

<回数> 37回（うち産品協会18回）（2/16現在）



早朝、セリ前に調査



品質チェック



セリ価格を聞き取り

<市場検品調査でブランド京野菜の品質確認 成果・課題>

○ブランド京野菜を中心に、規格・品質の問題点等を各産地にフィードバック。

市況や市場関係者から聞き取ったリアルタイムの情報を、関係機関に提供

○今後も、京都府特産物育成協議会等の関係機関、特に産地育成推進指導員と情報共有を図り、産地の品質向上に向け継続実施

農産物価格安定対策事業

1 野菜等経営安定対策事業（府単独事業）

*():前年度

区 分	対象品目数	加入産地数	交付予約数量 (トン・千本)	交付準備額 (千円)	補給金交付額 (千円)
野 菜	12	28 (28)	899 トン (1,000)	88,922 (105,844)	115 (8,855)
花 き	1	2 (3)	458 千本 (710)	3,246 (5,130)	0 (141)
計	13 (13)	30 (31)	-	92,168 (110,974)	115 (11,262) 事業完了率 64%

【要点】

- 今年度の補給交付金交付額は、全体的に例年より価格が安定しており、一般消費の少ない果菜類（賀茂なす）で1産地が交付対象となったが、昨年と比べて大幅減。
- 花きについては、猛暑による生育抑制で全国的に盆用コギクが不足したことから価格が高騰し、今年度は保証対象産地無し。
- 今年度も秋冬の気温が高く、野菜の生育が早まり一時的に供給量が増えたが、年明けの寒波と積雪の影響で現在出荷量が減少していることから冬春作は高値取引が予想される。

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（国庫事業）

*():前年度

対象品目数	加入産地数	交付予約数量 (トン)	交付準備額 (千円)	補給金交付額 (千円)
3 (3)	4 (4)	825 (970)	17,994 (20,100)	2,063 (8,731) 事業完了率 100 %

【要点】

- 4産地（5業務区分）のうち4産地（3業務区分）で補給交付金を交付。全体として前年度より6,668千円と大幅に減少。
- 春先は天候の影響で、特に春キャベツの出荷がない月があったことや前年度同品目において供給量過多に伴う単価安が顕著であったことが要因で、前年度と比較し今年度は補給金交付額が減少。
- 夏秋に出荷する果菜類についても、出荷量は前年より少し上回ったものの、前年度の単価安が例年より顕著であったため、前年度と比較し今年度は補給金交付額が減少。

3 野菜計画生産出荷促進対策特別事業（府単独事業）

*():前年度

対象品目数	加入産地数	交付予約数量 (トン)	交付準備額 (千円)	補給金交付額 (千円)
2 (2)	4 (4)	969 (1,075)	24,325 (24,325)	0 (0) 事業完了率 100%

【要点】

- （独法）農畜産業振興機構が実施する「指定野菜価格安定対策事業」（国庫事業）での京都府内の加入産地及び2の事業の加入産地のうち、京都府が定める対象品目において、計画的に生産出荷が行われた場合に補給金を上乗せして交付する事業。
- 出荷数量が補給交付金の交付要件に満たなかったため交付の実績はなし。

4 豆類価格安定対策事業（府単独事業）

*（ ）：前年度

対象品目数	加入産地数	交付予約数量 (トン)	交付準備額 (千円)	補給金交付額 (千円)
黒大豆	4 (4)	108 (100)	41,140 (41,140)	集計中 (0)
小 豆	8 (10)	70 (68)	26,645 (29,580)	集計中 (1,040)
計	12 (14)	178 (168)	67,785 (70,720)	集計中 (1,040) 事業完了率 0%

【要点】

- 収入保険制度加入に伴い、産地解除に至った産地や一時的に事業を中止した産地があるが、多くの産地で現状維持。また若干ではあるものの交付予約数量は増加。
- 産地解除に至った産地が数産地あるため、交付準備額は前年度より減少。
- 補給交付金については現在集計中。

5 野菜生産出荷安定資金造成円滑化事業（指定野菜価格安定対策事業）

【要点】

- （独）農畜産業振興機構が指定野菜価格安定対策資金を造成する場合において、生産者補給交付金として交付することを条件として、京都府負担額を協会を通じて機構に納付した。

6 加工・業務用野菜生産基盤強化推進支援事業（国庫事業）

【要点】

- （独法）農畜産業振興機構が実施する「加工・業務用野菜生産基盤強化推進事業」を行う団体等の事務支援。
- 令和4年度は事業実施主体1団体（京都農業協同組合）の1事業計画の事務支援を実施した。（平成29年採択分）

参考：主な行事

月 日	行 事 等	場 所 等
4 月 8 日	ブランド水産物に係る検査計画打合せ	京都水産会館（西舞鶴）
8 日	プレミアムレストランフェア打合せ	あじわい館
1 2 日	首都圏定期ミーティング（オンライン）	当事務所
1 2 日	ブランド水産物担当者ミーティング（オンライン）	当事務所
21～23 日	首都圏卸・販売店等打合せ	東京都内
2 3 日	府漬物協同組合打合せ	京都市内（北区）
25～26 日	京の食材マーケット開拓員打合せ・産地視察	京都JAビル・八幡市内
2 6 日	万願寺甘とう協議会役員会	JA京都にのくに本店
2 7 日	京都府特産物育成協議会事務局会議	京都JAビル
2 7 日	「京の米で京の酒を」推進会議事務局会議	京都JAビル
5 月 1 2 日	「京vegeアンバサダー」募集打合せ	龍谷大学
1 8 日	万願寺甘とう出発式	JAにのくに検品場（舞鶴市内）
1 9 日	万願寺甘とう初出荷セリ	京都市中央卸売市場
1 9 日	伏見とうがらし取材（元気印ミニ）	精華町内
2 0 日	東京青果・九州屋打合せ（オンライン）	当事務所
2 2 日	京都府漬物協同組合設立 5 0 周年記念式典	ホテルグランヴィア京都
2 4 日	首都圏PR定期ミーティング（オンライン）	当事務所
2 5 日	万願寺甘とう取材	福知山市三和町内
3 1 日	大黒本しめじこだわり生産認証検査立会	京丹波町内（瑞穂農林）
6 月 2 日	京のふるさと産品協会 第1回理事会	京都JAビル
2 日	「京の米で京の酒を」推進会議 総会	京都JAビル
3 日	園芸関係機関連絡調整会議	京都府庁
6 日	「京づくしプレミアムレストランフェア」打合せ	京料理鳥米
6 日	万願寺甘とう販促打合せ（東京青果・全農・にのくに）	当事務所
7 日	広島市場開拓打合せ	広島
1 0 日	京野菜取扱店巡回	京都市内
1 6 日	首都圏向け京野菜販売強化打合せ（新宿高島屋・園芸課）	当事務所
17～18 日	全国日本酒フェア	幕張メッセ
2 0 日	京のふるさと産品協会 定時総会・第2回理事会	京都JAビル
2 0 日	東京（取扱店まわり）	東京都内
2 3 日	京vegeアンバサダー任命式	京都JAビル
2 7 日	首都圏定期ミーティング	当事務所
2 7 日	賀茂なす出荷会議	JA京都中部支店
2 8 日	オンライン（ハイブリッド）産地見学会（伏見とうがらし・賀茂なす）	精華町・亀岡市
2 8 日	京たんごメロン初せり	京都市中央卸売市場
2 8 日	東京仲卸業者視察対応	当事務所

月 日	行 事 等	場 所 等
7 月 1 日	京都府特産物育成協議会 幹事会	京都JAビル
1 日	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 京野菜流通部会	京都府公館
5 日	おもてなし協議会 総会	京都JAビル
8 日	きょうと食育ネットワーク令和4年度総会・情報交換会	当事務所
8 日	京野菜を使用した料理教室の開催(7/25、8/6、8/22、11/10)	あじわい館
1 1 日	京たけのこ生産者意見交換会	JA京都中央本店
1 1 日	京の酒工場検査(14、19、22、26、28日)	招徳酒造・北川本家他
1 2 日	JA京都中央花菜部会 総会	乙訓地区農業構造改善センター
1 3 日	「ライブコマース(賀茂なす)」開催	綾部市
1 5 日	京都府特産物育成協議会 総会	京都JAビル
1 5 日	ブランド水産物担当者ミーティング	当事務所
1 5 日	京夏ずきん出荷会議	農林センター
2 6 日	首都圏京野菜取扱強化打合せ	太田市場内
2 7 日	店舗巡回	東京青果
2 8 日	京 夏ずきん初せり	京都市中央卸売市場
2 8 日	「万願寺甘とう トップセールス」開催	東京青果・シティ青果・店舗巡回
8 月 1 日	京都府農林水産フェスティバル実行委員会 総会	京都JAビル
5 日	エダマメ新品種意見交換会	資源研センター
6 日	JA京都にのくに25周年記念セミナー 講演	綾部市中丹文化会館
9 日	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 総会	京都ガーデンパレス
1 0 日	首都圏定期ミーティング(オンライン)	当事務所
2 0 日	Zoom親子料理教室(オンライン)	当事務所
2 1 日	ブランド京野菜 夏の料理フェア(8/21~9/4)	京都市内4店舗
2 3 日	京の酒工場検査(23日、25日、26日)	黄桜、月桂冠 他
2 4 日	京都府特産物育成協議会 幹事会(オンライン)	当事務所
2 9 日	紫ずきん出荷会議(オンライン)	当事務所
3 1 日	京都府農林水産フェスティバル担当者会議(オンライン)	当事務所
9 月 5 日	紫ずきん初セリ	京都市中央卸売市場
6 日	水産担当者ミーティング(オンライン)	当事務所
8 日	農林水産フェスティバル2022 担当者会議(オンライン)	当事務所
8 日	首都圏 京野菜取扱強化に向けての打合せ	東京青果、新宿高島屋
8 日	賀茂なすお試し会(試食会)の開催(計5回)	ABCクッキング
1 3 日	首都圏定期ミーティング(オンライン)	当事務所
1 4 日	ブランド認証審査会 幹事会(青果、豆・酒米)	京都JAビル
1 6 日	京漬物工場検査(20日)	京つけもの赤尾屋 他
2 7 日	オンライン(ハイブリッド)産地見学会(紫ずきん)	南丹市園部町
2 8 日	ブランド認証審査会 京野菜審査会	京都JAビル

月 日	行 事 等	場 所 等
1 0 月 3 日	農林水産フェスティバル 京都リビング新聞社広告打合せ	当事務所
5 日	農林水産フェスティバル 野菜ソムリエ打合せ	当事務所
7 日	紫ずきん生産拡大打合せ	京都JAビル
7 日	丹波くり品評会	福知山市三段池公園
1 3 日	京都府特産物育成協議会事務局会議（オンライン）	当事務所
1 4 日	丹波くり現場視察	丹波農園
1 4 日	京こかぶ取材	京北支店
1 8 日	首都圏定期ミーティング（オンライン）	当事務所
1 8 日	農林水産フェスティバル KBSラジオ打合せ	当事務所
1 9 日	レストランフェア打合せ	あじわい館
2 6 日	水産物担当者ミーティング（オンライン）	当事務所
2 6 日	農林水産フェスティバル 現地打合せ	パルスプラザ
2 7 日	中丹えびいも収穫・調製講習会（オンライン）	当事務所
2 7 日	農林水産フェスティバル 京野菜クイズ（京ベジ）打合せ	当事務所
2 8 日	ABCクッキング打合せ（オンライン）	当事務所
1 1 月 1 日	農林水産フェスティバル 第2回担当者会議	京都JAビル
1 日	旬の京野菜提供店ガイド打合せ	当事務所
2 日	令和4年度育種専門部会（とうがらしの部）	農林水産技術センター
7 日	農林水産フェスティバル KBSラジオ打合せ	当事務所
8 日	ブランド京野菜冬の料理フェア録画撮り	あじわい館
9 日	園芸関係機関連絡調整会議（オンライン）	当事務所
1 0 日	ブランド京野菜冬の料理フェア録画撮り	京料理 鳥米
1 1 日	祝米こだわり検査	当事務所
1 4 日	ブランド京野菜冬の料理フェア講演会打合せ	京都府立大学
1 5 日	東京で活躍する京都人の集い	東京都港区
16～18日	はんなり京都マルシェ～二子玉川～	東京都世田谷区
1 6 日	首都圏京野菜取扱強化打合せ(ABCクッキング)	東京都ABCクッキング本社
17～18日	首都圏販売促進打合せ	東京都(東一、シティ青果、他)
1 8 日	首都圏京野菜取扱強化打合せ(新宿高島屋)	新宿高島屋
2 1 日	聖護院大根出荷会議	JAやましろ久御山
2 2 日	農林水産フェスティバル ステージ打合せ（KBS）	事務所
26～27日	京都府農林水産フェスティバル	パルスプラザ
2 6 日	第4回丹波栗広域品評会表彰式	パルスプラザ
3 0 日	水産物ブランド産品会議（オンライン）	当事務所

月 日	行 事 等	場 所 等
1 2 月 5 日	東京青果会議（オンライン）	当事務所
6 日	京の食材マーケット開拓員との打合せ	当事務所
9 日	JA京都にのくに万願寺甘とう役員会	JAにのくに本店
1 2 日	京 夏ずきん、紫ずきん反省会	農技センター
13～14日	京料理展示大会	みやこめっせ
1 3 日	祝米こだわり検査	当事務所
1 4 日	JA京都にのくに万願寺甘とう部会協議会生産者大会	綾部市中央公民館
1 5 日	産地育成推進指導員会議	京都JAビル
2 0 日	「ライブコマース（祝）」開催（月桂冠）	月桂冠大倉記念館
2 2 日	元気印ミニ（京壬生菜）取材	日吉町
1 月 5 日	初市式	京都中央卸売市場
7 日	レストランフェア記念講演会（7～8日）	あじわい館
1 2 日	京都府地域特産物育成協議会南丹地域意見交換会	JA京都本店
1 3 日	京都府地域特産物育成協議会丹後地域意見交換会	JA京都丹後出張所
1 4 日	日本茶の魅力シンポジウム	宇治茶会館
1 7 日	JA京都中央花菜部会出荷目合わせ会	JA京都中央
1 8 日	京都府地域特産物育成協議会中丹地域意見交換会	JAにのくに
2 1 日	ブランド京野菜 冬の料理フェア（1/21～2/19）	府内料理店
2 7 日	丹後水産物ブランド推進協議会総会	当事務所
2 7 日	園芸関係機関連絡調整会議	京都府庁
2 月 2 日	JA京都にのくに「生産振興大会」	綾部市中央公民館
2～3日	イタリア料理専門展	ANAクラウンプラザ ホテル京都
7 日	京都府地域特産物育成協議会乙訓地域意見交換会	JA京都ビル
1 5 日	京都府地域特産物育成協議会山城地域意見交換会	JA京都やましろ
2 1 日	オンライン（ハイブリッド）産地見学会（花菜）	長岡京市

令和4年度第3回理事会 協議事項

- 1 令和5年度事業計画及び収支予算について
- 2 令和5年度会費の賦課・徴収方法について
- 3 賛助会員規程の策定について
- 4 その他

公益社団法人京のふるさと産品協会

協議事項 1 令和5年度事業計画及び収支予算について

I 事業計画

<全体方針>

社会情勢に応じた消費者の行動変容・流通変化、地域ブランドを強化する他産地との競争激化に対応し、「オンリーワンを目指す攻めのブランド推進事業」の取組と「生産者を下支えする農産物価格安定対策事業」を関係機関と連携して推進します。

ブランド推進事業

<方針>

●オール京都で生産者と消費者をつなぐ取組を展開

京都府、JAグループ京都、漁協及び流通・料理関係者等と連携しながら、

①ブランド認証 ②情報収集・提供 ③普及啓発 ④相談・指導

の4本柱で事業を展開し、生産者と消費者をつなぐ取組を継続します。

●経済情勢等の変化に対応した消費者の行動変容・流通変化に適応したPR

海外情勢等の影響による生産資材及び原材料の値上がり等の経済情勢の変化に対応し、農業者の生産基盤の維持・安定を図るとともに、消費者の行動変容・流通の変化に適応した参加型イベント等の実施による試食宣伝を再開したPRを行います。

●ブランド力の強化

京のブランド製品の付加価値・市場評価の向上に向けた取組を、関係機関と連携・推進し、府内産農林水産物の流通販売の先導役を果たせるよう努めます。

事業の推進にあたっては、JAグループ京都の「儲かる農業」確立の取組と連携するとともに、PDCAにより進行管理します。

<事業内容>

1 ブランド認証事業

○ブランド品目・産地の取組支援

- ・ブランド認証産地の管理に努め、関係機関と連携して産地の取り組みを支援
- ・ブランド認証品目の円滑な流通・消費拡大に向けた資材（赤帯袋等）整備等支援
- ・ブランド認証品目拡大に向けた関係機関と意見交換等

○ブランド認証の実施・指導（京マークの管理、審査の実施、認証審査会の運営）

- ・京野菜をはじめとした農林水産物ブランド認証制度の適正な運営
- ・安心・安全を担保する京都こだわり生産認証制度の適正な運用、検査を関係機関と連携して実施
- ・カテゴリーごと（京野菜・水産物等）のパンフレットでPR

○市場検品調査の実施

- ・JA全農京都と連携し市場検品調査（毎週1回）
- ・調査結果を府指導機関・JA等へフィードバックし、産地の品質管理を支援

2 情報収集・提供事業

○社会情勢に応じた消費者の行動変容・流通変化に適応した事業展開

- ・消費者・料理店・流通・生産者をつなぐため多様な媒体で情報発信
消費者・小売店・料理店・産地をつなぐため、情報誌「元気印」、「元気印ミニ」、ホームページ・SNS・YouTube等、ターゲットに合わせ、紙・デジタル両媒体で、京野菜等のこだわりなど産地情報の提供・PR
- ・流通・料理店関係者に向けオンライン等での情報発信
京野菜等のこだわりを産地から生で伝え、料理店等から好評の「オンライン産地見学会」を、より魅力ある企画・分かりやすい情報提供方法にブラッシュアップして実施
YouTubeでも好評であることから、「百聞は一見にしかず」の産地見学会の動画・写真等のコンテンツを流通関係者向けPRにも活用する手法を試行
- ・消費者参加型の情報発信
「京vegeアンバサダー」を任命し、消費者、特に若い世代の視点から、京野菜等の栄養・健康機能性・料理特性等新たな価値を情報発信
- ・未来の料理人へのPR
料理専門学校へブランド京野菜を提供し、学生レストラン、調理実習での活用 の場を提供
- ・高級量販店等販路開拓に向け、消費者ニーズに即したPR
「簡単・早い・おいしい」料理レシピを開発・動画作成
高級量販店を販路開拓し、動画放映モニターを設置・顧客アピール
出荷計画に連動し、店頭・携帯で情報発信
- ・マスコミを通じたPR
TV・新聞・雑誌等のマスコミから京野菜等の問合せ、情報提供の依頼に「京のブランド産品」の広告塔として対応・PR。新聞・雑誌等にブランド産品広告掲載
- ・首都圏に「京の食材マーケット開拓員」を引き続き設置
協会の取組を市場・店舗に働きかけるとともに、情報の収集とフィードバック

3 普及啓発事業

○社会情勢に応じた消費者の行動変容・流通変化に適応した事業展開(再掲)

上記2に同じ

○販売店と連携した京のブランド産品PR活動の展開

ブランド京野菜等の消費拡大に向け、多様な取り組み（京野菜マルシェ、セミナーや料理教室と連携した販売促進、動画放映モニター提供等）をパッケージにした企画を販売店に提案

○美味研鑽 京の食文化「ブランド京野菜 旬の料理フェア」の開催

京野菜への理解を深め、京都府内産農林水産物の消費拡大と飲食業界の支援、京の食文化の継承のため「ブランド京野菜 旬の料理フェア」を開催

○京都府農林水産フェスティバルの開催

『「食の京都」大収穫祭～京都府農林水産フェスティバル2023』を開催

4 相談・指導事業

- ・府内各地域でのイベント、各種生産出荷対策会議に出席し、助言
- ・生産者・JA関係者が行う市場調査や研修活動に対して支援

農産物価格安定対策事業

<令和5年度実施方針>

●農業経営・農産物生産の安定につなげる事業実施

府内生産者の農業経営を下支えし、再生産を確保することにより、農産物の安定生産を図るとともに、消費者に農産物の安定供給を図ることを目的とする農産物価格安定対策事業の果たす役割は大きいものがあります。

このため、農産物の市場・産地価格等が一定水準以下に低下した時に生産者に補給金を交付する農産物価格安定対策事業を引き続き実施します。

●産地の形成・維持・拡大に向けた事業PR

現場への価格安定対策事業内容のPRに努め、生産者が価格保証により生産・出荷を安心して進められる環境づくりをすることで、産地の形成・維持・拡大に繋がるよう、関係機関と連携して取り組みます。

<事業内容>

1 野菜等経営安定対策事業（京都府独自制度）

*（ ）：前年度

品目数	産地数	業務区分	交付予約数量
13 (13)	30 (31)	47 (48)	野菜 921トン（1,000トン）、 花き 458千本（710千本）

（参考）各産地に見合う保証基準額を毎年設定して事業を実施することで、わずかな単価変動にも対応できるようにしています。

事業全体の申込数量は若干減少傾向ですが、新規産地の加入も続いており、一部の事業継続産地では申込数量が増加しています。

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（国制度）

*（ ）：前年度

品目数	産地数	業務区分	交付予約数量
3 (3)	4 (4)	5 (5)	824トン (825トン)

（参考）近年の気候変動の中で、交付予約数量と出荷実績数量とのかい離のある産地については、行政の指導を踏まえ交付予約数量の見直しを行っています。

3 野菜計画生産出荷促進対策特別事業（京都府独自制度）

*（ ）：前年度

品目数	産地数	業務区分	交付予約数量
2 (2)	4 (4)	5 (5)	968トン (969トン)

（参考）京都府が認めた品目のうち、2の事業の加入産地において計画的に生産出荷が行われた場合に補給金を上乗せして交付する事業です。

前年度とほぼ同内容で事業実施します。

4 豆類価格安定対策事業（京都府独自制度）

*（ ）：前年度

品 目	産地数	業務区分	交付予約数量
黒大豆	4 (5)	7 (9)	108トン (101トン)
小豆	8 (10)	10 (14)	70トン (67トン)

（参考）収入保険への移行等により事業実施産地が減少している中で、継続して事業加入する産地では、前年度並みの交付予約数量を維持して事業実施します。

5 野菜生産出荷安定資金造成円滑化事業（指定野菜価格安定対策事業）（国制度）

*（ ）：前年度

品 目	産地数	業務区分	出荷団体
夏秋なす	1 (1)	2 (2)	全農京都府本部

（参考）（独）農畜産業振興機構が指定野菜価格安定対策資金を造成する場合において、生産者補給交付金として交付することを条件として、協会を通じて京都府負担額を機構に納付します。

6 大規模契約栽培産地育成強化推進支援事業に係る事務支援（国制度）

加工・業務用野菜を中心に国内産が需要に答えきれていない品目や作型の作付け拡大等を推進することを目的に、大規模面積で実需者との契約栽培に取り組む産地を（独）農畜産業振興機構が支援する事業です。

協会は、この事業の円滑化のため、事業実施主体の事務支援を行います。

<重点的取り組み>

(1) 収入保険制度との重複加入に対する点検の継続

国の生産者に対する収入保険制度と野菜価格安定制度との同時利用可能期間（※）を設定する措置が継続されたことを受け、生産者が価格安定制度を活用する段階や関係団体での申込手続段階で、引き続きしっかり点検し、適正で円滑な事業運営を行います。

※令和3年から同時利用を実施している者は、同時利用期間を最大3年間まで延長、令和4年以降の収入保険新規加入者は、引き続き最大2年間まで同時利用可能。

(2) 価格安定対策事業についての取組啓発

産地の形成・維持・拡大に向け、関係団体との情報共有と生産者へのPRに努めます。

令和5年度農産物価格安定対策事業計画総括表

事業名		産地数	業務区分数	交付予約数量 (トン・千本)
野菜等経営安定対策事業	野菜(トン)	28	45	921
	花き(千本)	2	2	458
特定野菜等供給育成価格差補給事業	野菜(トン)	4	5	824
野菜計画生産出荷促進対策特別事業	野菜(トン)	4	5	968
豆類価格安定対策事業	豆類(トン)	12	17	178
合 計	野菜豆計(トン)	48	72	2,891
	花き計(千本)	2	2	458

※当協会が事業実施主体となっている事業分のみを記載。

<農産物価格安定対策事業>

1 野菜等経営安定対策事業

区分	対象野菜（野菜）	作型	交付予約数量	作付面積	契約出荷団体	産地名
		業務区分数	〔トン・千本〕	(a)		
更新	ねぎ（九条ねぎ）	春	271.0	677.0	京都やましろ	八幡市
	ねぎ（九条ねぎ）	秋冬	5.3	50.0	京都やましろ	八幡市
	みず菜	春まき	4.4	50.0	京都やましろ	宇治田原町
	みず菜	夏まき	4.5	50.3	京都やましろ	宇治田原町
	みず菜	秋冬まき	6.1	50.0	京都やましろ	宇治田原町
	きゅうり	10-12月	14.7	55.0	京都やましろ	宇治田原町
	青とうがらし	普通	6.4	50.0	京都やましろ	精華町
	万願寺とうがらし	半促成	77.9	318.5	京都やましろ	やましろ広域
	ねぎ（九条ねぎ）	春まき	28.0	139.0	京都やましろ	やましろ広域
	ねぎ（九条ねぎ）	夏まき	23.0	115.0	京都やましろ	やましろ広域
	ねぎ（九条ねぎ）	秋冬まき	21.0	105.0	京都やましろ	やましろ広域
	花菜	冬春	9.5	249.0	京都やましろ	やましろ広域
	花菜	冬春	3.2	68.0	京都やましろ	和束町
	青とうがらし	普通	10.0	58.7	京都	京都市
	青とうがらし	普通	15.8	59.2	京都	南丹市
	黒大豆えだまめ	普通	8.3	207.0	京都	南丹市
	みず菜	春まき	23.6	269.0	京都	南丹市
	みず菜	夏まき	20.1	281.3	京都	南丹市
	みず菜	秋冬まき	28.4	297.0	京都	南丹市
	ねぎ（九条ねぎ）	夏	5.7	51.0	京都	南丹市
	ねぎ（九条ねぎ）	秋冬	4.3	51.0	京都	南丹市
	壬生菜	春まき	11.3	125.8	京都	南丹市
	壬生菜	夏まき	9.3	138.8	京都	南丹市
	壬生菜	秋冬まき	19.8	122.4	京都	南丹市
	しゅんぎく	秋冬	4.9	117.0	京都	南丹市
	しゅんぎく	冬春	10.4	116.1	京都	南丹市
	ほうれんそう	春	5.5	92.7	京都	京丹波町
	ほうれんそう	夏秋	4.3	137.1	京都	京丹波町
	ほうれんそう	冬春	5.9	96.5	京都	京丹波町
	みず菜	春まき	4.2	72.8	京都	京丹波町
	みず菜	夏まき	2.6	52.2	京都	京丹波町
	みず菜	秋冬まき	3.4	50.9	京都	京丹波町
	きゅうり	7-9月	33.6	73.2	京都	福知山市
	みず菜	秋冬まき	8.1	68.9	京都	京丹後市
	賀茂なす	普通	5.6	21.1	京都	京丹後市
	ブロッコリー	秋冬	6.6	138.0	京都	京丹後市
	みず菜	春まき	1.7	21.0	京都	伊根町
	みず菜	秋冬まき	2.6	33.0	京都	伊根町
	ねぎ（九条ねぎ）	4-9月	9.6	87.2	京都	伊根町
	ねぎ（九条ねぎ）	10-3月	6.6	73.0	京都	伊根町
	黒大豆えだまめ	普通	4.2	118.7	京都にのくに	福知山市
	万願寺とうがらし	普通	29.6	89.8	京都にのくに	福知山市
	万願寺とうがらし	普通	100.2	278.2	京都にのくに	舞鶴市
	黒大豆えだまめ	普通	1.7	58.2	京都にのくに	綾部市
	万願寺とうがらし	普通	38.0	115.2	京都にのくに	綾部市
	野菜小計	45	920.9	5,548.8		

区分	対象野菜（花き）	作型	交付予約数量	作付面積	契約出荷団体	産地名
		業務区分数	〔トン・千本〕	(a)		
更 新	コギク	7-9月	39.2	32.6	京都	福知山市
	コギク	7-9月	418.5	161.8	京都	京丹後市
	花き小計	2	457.7	194.4		
	野菜小計	45	920.9	5,548.8		
	花き小計	2	457.7	194.4		
合 計		47	1,378.6	5,743.2		

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（指定野菜供給産地育成価格差補給事業）

区分	対象野菜	対象JA	対象産地	出荷期間	交付予約数量 〔トン〕
継 続	春キャベツ	京都中央	伏見	4/1～5/15	103.0
短 縮	春キャベツ	京都市、京都中央	伏見	5/16～6/30	253.0
短 縮	夏秋きゅうり	京都やましろ	宇治田原	7/1～9/30	140.0
継 続	夏秋なす	京都中央	大原野、向日・長岡京	7/1～9/30	276.0
短 縮		京都中央	大原野、向日・長岡京	10/1～11/30	52.0
合 計					824.0

3 野菜計画生産出荷促進対策特別事業

区分	対象野菜	対象JA	対象産地	出荷期間	交付予約数量 〔トン〕
特定野菜等供給産地育成価格差補給事業					
	夏秋きゅうり	京都やましろ	宇治田原	7/1～9/30	140.0
	夏秋なす	京都中央	大原野、向日・長岡京	7/1～9/30	276.0
		京都中央	大原野、向日・長岡京	10/1～11/30	52.0
小 計					468.0
指定野菜価格安定対策事業					
	夏秋なす	京都やましろ	京やましろ	7/1～9/30	400.0
		京都やましろ	京やましろ	10/1～11/30	100.0
小 計					500.0
合 計					968.0

4 豆類価格安定対策事業

区分	対象豆類	契約出荷団体	産地名	出荷期間	交付予約数量 〔トン〕
更新	黒大豆	京都	南丹市日吉町	11/1～12/31	12.01
	小豆	京都にのくに	舞鶴市	1/1～3/31	3.13
継続	黒大豆	京都	京丹波町丹波	11/1～12/31	1.41
	黒大豆	京都	京丹波町丹波	1/1～3/31	16.13
	黒大豆	京都	京丹波町和知	11/1～12/31	47.81
	黒大豆	京都	京丹波町和知	1/1～3/31	10.38
	黒大豆	京都	京丹後市久美浜町	11/1～12/31	10.63
	黒大豆	京都	京丹後市久美浜町	1/1～3/31	9.60
	小豆	京都	京都市右京区京北	11/1～12/31	0.66
	小豆	京都	亀岡市	11/1～12/31	7.03
	小豆	京都	南丹市日吉町	11/1～12/31	2.76
	小豆	京都	京丹波町丹波	11/1～12/31	10.09
	小豆	京都	京丹波町瑞穂	11/1～12/31	23.71
	小豆	京都	福知山市	11/1～12/31	17.63
	小豆	京都	福知山市	1/1～3/31	1.21
	小豆	京都	宮津市	11/1～12/31	1.70
	小豆	京都にのくに	舞鶴市	11/1～12/31	1.87
	黒大豆合計				107.97
	小豆合計				69.78
	総合計				177.75

Ⅱ 収支予算

収 支 予 算 書(損益ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	(20,952)	(20,972)	(△20)
正会員受取会費	20,872	20,892	△20
賛助会員受取会費	80	80	-
受取補助金等	(55,817)	(60,060)	(△4,243)
受取ブランド推進事業補助金	43,186	46,423	△3,237
受取野菜等経営安定対策事業 交付準備金	10,840	11,911	△1,070
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	996	1,424	△428
受取野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	280	280	-
受取豆類価格安定対策事業 交付準備金	514	22	492
受取助成金等	(1,993)	(2,850)	(△857)
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付助成金	1,993	2,850	△857
受取負担金	(18,951)	(19,957)	(△1,006)
受取負担金1号	10,840	11,911	△1,070
受取負担金3号	996	1,424	△428
受取負担金5号	514	22	492
受取分担金	6,600	6,600	-
雑収益	(222)	(232)	(△10)
受取利息	7	12	△5
雑収益	215	220	△5
経常収益計	97,935	104,072	△6,137
(2) 経常費用			
事業費	(89,632)	(98,746)	(△9,114)
役員報酬	5,250	5,250	-
給料手当	17,715	17,877	△162
賃金	1,700	1,512	188
諸謝金	480	580	△100
福利厚生費	5	11	△6
法定福利費	4,490	4,214	276
保険料	66	88	△22
会議費	450	550	△100
旅費	1,554	2,042	△488
通信運搬費	2,244	2,136	107
減価償却費	378	482	△103
消耗品費	756	473	282
印刷資料費	4,145	8,144	△3,999
光熱水費	545	270	274
賃借料	3,242	3,141	100
支払手数料	1,164	1,141	23
支払助成金	400	750	△350

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額
委託料	8,720	9,327	△607
租税公課	1	-	1
広告宣伝費	7,835	9,394	△1,559
支払負担金	1,512	1,509	2
支払補助金等			
支払野菜等経営安定対策事業	21,681	23,822	△2,141
支払特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	3,986	5,699	△1,713
支払野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	280	280	-
支払豆類価格安定対策事業 交付準備金	1,028	44	984
雑費	2	1	0
管理費	(7,466)	(5,924)	(1,541)
役員報酬	1,921	1,840	81
給料手当	2,438	2,218	219
福利厚生費	261	163	97
法定福利費	654	585	69
保険料	58	27	30
会議費	110	58	52
旅費	52	11	40
通信運搬費	146	52	94
減価償却費	109	116	△6
消耗品費	56	11	45
印刷資料費	81	11	69
光熱水費	109	54	55
賃借料	553	483	70
支払手数料	243	208	34
委託料	652	76	575
租税公課	2	2	-
支払負担金	12	3	8
雑費	5	1	3
經常費用計	97,098	104,671	△7,572
評価損益等調整前当期經常増減額	837	△598	1,435
評価損益等計	-	-	-
当期經常増減額	837	△598	1,435
2. 經常外増減の部			
經常外収益計	-	-	-
(2) 經常外費用			
經常外費用計	-	-	-
当期一般正味財産増減額	837	△598	1,435
一般正味財産期首残高	5,179	10,782	△5,603
一般正味財産期末残高	6,016	10,184	△4,168
II 指定正味財産増減の部	-	-	-
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
III 正味財産期末残高	6,016	10,184	△4,168

正味財産増減予算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取会費	4,158	10,255		14,414	6,537		20,952
正会員受取会費	4,158	10,175		14,334	6,537		20,872
賛助会員受取会費	—	80		80	—		80
受取補助金等	40,386	13,681		54,067	1,750		55,817
受取ブランド推進事業補助金	40,386	1,050		41,436	1,750		43,186
受取野菜等経営安定対策事業 交付準備金	—	10,840		10,840	—		10,840
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	—	996		996	—		996
受取野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	—	280		280	—		280
受取豆類価格安定対策事業 交付準備金	—	514		514	—		514
受取助成金等	—	1,993		1,993	—		1,993
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付助成金	—	1,993		1,993	—		1,993
受取負担金	6,600	12,351		18,951	—		18,951
受取負担金1号	—	10,840		10,840	—		10,840
受取負担金3号	—	996		996	—		996
受取負担金5号	—	514		514	—		514
受取分担金	6,600	—		6,600	—		6,600
雑収益	202	4		206	16		222
受取利息	2	4		6	1		7
雑収益	200	—		200	15		215
経常収益計	51,346	38,285		89,631	8,303		97,935
(2) 経常費用							
事業費	(51,346)	(38,285)		(89,632)			(89,632)
役員報酬	4,200	1,050		5,250			5,250
給料手当	10,401	7,314		17,715			17,715
賃金	1,700	—		1,700			1,700
諸謝金	480	—		480			480
福利厚生費	5	—		5			5
法定福利費	3,163	1,327		4,490			4,490
保険料	66	—		66			66
会議費	450	—		450			450
旅費	1,549	5		1,554			1,554
通信運搬費	2,135	108		2,244			2,244
減価償却費	315	63		378			378
消耗品費	709	47		756			756

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
印刷資料費	4,145	－		4,145			4,145
光熱水費	454	91		545			545
賃借料	2,781	460		3,242			3,242
支払手数料	895	269		1,164			1,164
支払助成金	400	－		400			400
委託料	8,147	573		8,720			8,720
租税公課	－	1		1			1
広告宣伝費	7,835	－		7,835			7,835
支払負担金	1,512	－		1,512			1,512
支払補助金等							
支払野菜等経営安定対策事業 交付準備金	－	21,681		21,681			21,681
支払特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	－	3,986		3,986			3,986
支払野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	－	280		280			280
支払豆類価格安定対策事業 交付準備金	－	1,028		1,028			1,028
雑費	2	－		2			2
管理費					(7,466)		(7,466)
役員報酬					1,921		1,921
給料手当					2,438		2,438
福利厚生費					261		261
法定福利費					654		654
保険料					58		58
会議費					110		110
旅費					52		52
通信運搬費					146		146
減価償却費					109		109
消耗品費					56		56
印刷資料費					81		81
光熱水費					109		109
賃借料					553		553
支払手数料					243		243
委託料					652		652
租税公課					2		2
支払負担金					12		12
雑費					5		5
経常費用計	51,346	38,285		89,632	7,466		97,098
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0		0	837		837
評価損益等計	－	－		－	－		－
当期経常増減額	0	0		0	837		837

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	-	-		-	-		-
(2) 経常外費用							
経常外費用計	-	-		-	-		-
当期経常外増減額	-	-		-	-		-
当期一般正味財産増減額	0	0		0	837		837
一般正味財産期首残高	-	-		-	-		5,179
一般正味財産期末残高	-	-		-	-		6,016
Ⅱ 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	-	-		-	-		-
指定正味財産期首残高	-	-		-	-		-
指定正味財産期末残高	-	-		-	-		-
Ⅲ 正味財産期末残高	-	-		-	-		6,016

協議事項 2 令和5年度会費の賦課・徴収方法について

定款第7条の規定及び会費等に関する規程により、令和5年度の協会の活動に必要な会費を下記により徴収する。

1 ブランド推進事業関係会費

(定款第4条第1項第1号に規定するブランド推進事業関係会費)

総	額	7,600,000 円
---	---	-------------

(1) 賦課方法

京都府、JA連合会、JA及びその他連合会・会員にあっては、次の額をそれぞれ負担する。

京	都	府	3,000,000 円
J	A	連 合 会	2,700,000 円
J		A	1,500,000 円
その他連合会・会 員			400,000 円

(2) 徴収方法

令和5年10月31日までに徴収する。

2 価格安定対策事業関係会費

(定款第4条第1項第2号に規定する価格安定事業関係会費)

総	額	13,272,000 円
---	---	--------------

(1) 賦課方法

京都府にあっては、特別運営費(5,772千円)及び会費の対象となる価格対策管理運営費(全体額7,500千円)の3分の1の額2,500千円を、市町村・JA連合会にあっては、会費の対象となる価格対策管理運営費の6分の1の額1,250千円を、JAにあっては、会費の対象となる価格対策管理運営費の3分の1の額2,500千円を、それぞれ負担する。

京	都	府	8,272,000 円
市	町	村	1,250,000 円
J	A	連 合 会	1,250,000 円
J		A	2,500,000 円

(2) 徴収方法

令和5年10月31日までに徴収する。

3 賛助会員会費

(定款第5条第1項第2号に規定する賛助会員の会費)

(1) 賦課方法

1団体当たり 20,000 円 以上

(2) 徴収方法

既加入団体にあっては令和5年10月31日までに徴収し、新規加入団体にあっては入会后速やかに徴収する。

【参 考】

<農産物価格安定対策事業負担金>

1 野菜等経営安定対策事業負担金

負担金13,566,348円は、令和5年度において見込まれる交付予約数量野菜921トン、花き458千本に係る業務方法書第6条第2項に規定する造成資金と令和4年度末の残資金との差額であって、野菜等経営安定対策事業に係る交付準備金とすることを指定した負担金。

(1) 賦課方法

業務方法書第6条第2項の規定による。

(2) 徴収方法

契約出荷団体、その他の負担金にあつては、京のふるさと産品協会が指定した日までに徴収する。

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業負担金

負担金516,000円は、令和5年度において見込まれる交付予約数量824トンに係る業務方法書第30条第2項に規定する造成資金と令和4年度末の残資金との差額であって、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に係る交付準備金とすることを指定した負担金。

(1) 賦課方法

業務方法書第30条第2項の規定による。

(2) 徴収方法

対象出荷団体、その他の負担金にあつては、京のふるさと産品協会が指定した日までに徴収する。

3 豆類価格安定対策事業負担金

負担金495,000円は、令和5年度において見込まれる交付予約数量178トンに係る業務方法書第75条第2項に規定する造成資金と令和4年度末の残資金との差額であって、豆類価格安定対策事業に係る交付準備金とすることを指定した負担金。

(1) 賦課方法

業務方法書第75条第2項の規定による。

(2) 徴収方法

契約出荷団体、その他の負担金にあつては、京のふるさと産品協会が指定した日までに徴収する。

以上

協議事項 3 賛助会員規程の策定について

定款第5条第2号及び会費等に関する規程第2条第2号で定めるこの法人の賛助会員の入会促進のため、次のとおり新たに賛助会員規程を策定する。

「公益社団法人京のふるさと産品協会賛助会員規程」の内容

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人京のふるさと産品協会（以下「この法人」という。）の定款第5条第1項第2号で定める賛助会員（以下「会員」という。）について、別に定めるもののほか、この規程に定めることを目的とする。

(申込)

第2条 この法人の目的・事業に賛同し、この法人に会員として入会しようとする団体及び個人は、理事長に申込み、承認を得るものとする。

(会費の徴収)

第3条 会費は、既加入団体にあっては毎年10月31日までに徴収し、新規加入団体にあっては入会后速やかに徴収するものとする。

(理事会への報告)

第4条 理事長は新たに会員となった者及び除名並びに退会した者について、その属性及び入会の承認又は退会若しくは除名した理由を理事会に報告するものとする。

(その他)

第5条 この法人は、会員からの研修会の講師等の派遣要請に対応するものとする。但し、必要経費は会員が実費相当分を負担する。

2 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項があるときは理事会の決議を得て理事長が別に定めるものとする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決を経て行う。

附則 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

【参考】公益認定等ガイドライン17（4）

『公益目的事業のみを実施する法人は、寄付を受けた財産や公益目的事業に係る活動の対価として得た財産のうち、適正な範囲内の管理費相当額については、公益目的事業財産に含まれないものと整理することができる。』

——→ 会費の使途を定めなくても、適正な範囲内で賛助会員の会費を管理費に配分することができる。